

## 令和6年度 第2回 海部圏域保健医療福祉推進会議 議事録

日時：令和7年1月30日（木）午後1時30分から午後2時18分まで

場所：津島保健所 大会議室

時 間	発 言
開会 (加藤次長)	<p>お待たせいたしました。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から、令和6年度 第2回 海部圏域保健医療福祉推進会議を開催させていただきます。</p> <p>それでは、開会にあたりまして、津島保健所 近藤所長から御挨拶を申し上げます。</p>
所長挨拶 (近藤所長)	<p>皆さんこんにちは。津島保健所長の近藤でございます。</p> <p>本日は大変お忙しいところ、令和6年度第2回海部圏域保健医療福祉推進会議にご参集いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>また、いつも本県健康福祉行政に関しましては、格別のご理解とご協力を賜りまして、この場を借りまして厚くお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。</p> <p>さて、この会議は保健医療福祉に関する施策につきましてその円滑かつ効果的な実施のために関係行政機関、関係団体その他関係者の皆様からご意見をいただくこと及び関係機関相互の連絡調整を行うことによりまして保健医療福祉の連携を図ることを目的として毎年開催をさせていただいているところでございます。</p> <p>本日は、協議事項1項と報告事項1項をご用意させていただいております。</p> <p>まず、協議事項でございますが、愛知県地域保健医療計画に掲載をされております当圏域の災害医療対策に関する活動要領につきましてご協議いただくことにしております。これは、これまで当圏域におけます医療救護活動計画がございましたけれども、これが県の方針で廃止されることとなったことから、それに代わるものとして、新たに保健医療活動要領を策定いたしまして、昨年12月10日に開催いたしました当保健所の地域災害医療部会でご承認いただきましたので、当推進会議においてもご協議いただくものでございます。</p> <p>それから、報告事項でございますが、保健医療計画の別表が今年度も更新されましたのでご報告させていただくことにしております。</p> <p>最後になりましたけれども保健・医療・福祉の施策がさらに充実するようご出席の皆様には忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたしまして私からの開会のご挨拶とさせていただきます。</p> <p>それでは、本日、どうぞよろしく願いいたします。</p>
出席者紹介 (加藤次長)	<p>申し遅れましたが、私は、本日の会議の司会を担当させていただきます津島保健所次長の加藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>ここで、御出席いただきました皆様方を御紹介させていただくことが本意でございますが、時間の都合もございますので、配布いたしました出席者名簿及び配席図をもちまして、御紹介に代えさせていただきます。</p> <p>なお、やすらぎの里施設長の森様については本日ご欠席でございます。</p>

<p>書類確認 (加藤次長)</p>	<p>続きまして、資料の確認をさせていただきます。 次第の裏面を御覧ください。</p> <p style="text-align: center;"><b>【次第裏面に沿って資料確認】</b></p> <p>不足している資料がございましたら、お知らせください。 よろしいでしょうか。</p>
<p>議長選出 (加藤次長)</p>	<p>続きまして、議長の選出となります。 愛知県圏域保健医療福祉推進会議開催要領第4条第2項により、御出席の構成員の中から互選により決めることとなっております。 事務局といたしましては、 津島市医師会長 奥村 様 に、お願いする提案をさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p style="text-align: center;"><b>【異議なしの声】⇒【議長の札を奥村会長の前に置かれる】</b></p> <p>それでは、以後の議事の進行は議長にお願いします。</p>
<p>議長就任 (奥村議長)</p>	<p>津島市医師会長の奥村でございます。 議長を務めさせていただきますので、 よろしく申し上げます。</p> <p>今回の会議は協議事項と報告事項が1つずつあり、適切な議事進行に努めますので、御協力いただきますようお願い申し上げます。</p>
<p>公開非公開照会 (奥村議長)</p>	<p>議事に入る前に、 本日の会議の公開・非公開の取り扱いについて、 事務局から説明してください。</p>
<p>公開報告 (安藤補佐)</p>	<p>当会議は、開催要領第5の第1項により原則公開としており、本日の議題につきましては、不開示情報等は含まれておりませんので公開とさせていただきます。</p>
<p>公開確認 (奥村議長)</p>	<p>事務局説明のとおり、本会議は公開となります。 なお、本日の会議での発言内容、発言者名を、後日、愛知県のホームページに会議録として掲載することにしておりますので、御出席の皆様におかれましては、あらかじめ御承知ください。</p>
<p>出欠状況照会 (奥村議長)</p>	<p>続いて、要領に則り出席の確認を行います。 愛知県圏域保健医療福祉推進会議開催要領第4の第3項に基づき構成員の出欠状況を事務局から報告してください。</p>

<p>出席者数報告 (安藤補佐)</p>	<p>本会議の構成員は19名です。 午後1時30分現在の出席状況は代理出席も含めて17名、 欠席構成員数は2名です。 したがって、要領第4の第3項に規定されている、構成員の過半数以上の出席があることを報告いたします。</p>
<p>過半数確認 (奥村議長)</p>	<p>ただ今、事務局から報告のありましたとおり、過半数以上の出席があることを確認しましたので、議事を進めます。</p>
<p>協議事項議事進行 (奥村議長)</p>	<p>議事の一つ目は協議事項です。 協議事項 海部医療圏保健医療活動要領の策定について協議いたします。  このことについて、事務局から説明してください。</p>
<p>協議事項説明 (鈴木主任)</p>	<p>協議事項 海部医療圏保健医療活動要領の策定について説明申し上げますので、資料1-1、1-2、1-3、1-4、関連資料の1から4までをご用意ください。 まず、資料1-1をご覧ください。 タイトルが、海部医療圏保健医療活動要領の策定とございますが、この会議の開催要領で所掌事務として愛知県地域保健医療計画の推進に関することとございますことを踏まえ、1協議趣旨に書きましたが、昨年12月10日開催いたしました津島保健所地域災害医療部会にて策定が承認されました海部医療圏保健医療活動要領の使用につきまして、保健医療計画に記載されている災害医療対策推進の観点からご意見いただくということです。 次に、2要領策定理由をご覧ください。海部医療圏における災害医療対策の根拠となっていた海部医療圏医療救護活動計画が愛知県の方針により今年度末で廃止されることになりました。そこで、その代替となるものとして、海部医療圏保健医療活動要領なるものをこの活動計画の内容を踏襲して策定いたしました。 この要領の目的が四角の中に書かれておりますが、この要領は、南海トラフ巨大地震等の大規模災害により甚大な被害の発生が想定される海部医療圏の実情に応じた体制を構築することで、地域災害対応力が強固なものとなる為に、津島保健所保健医療調整会議を軸とした体制や対応手順を示し関係機関が共有すべき保健医療活動方針として定める。 なお、自治体・団体等で個別の計画・手順書等がある場合、それを優先する。としております。 2行目の実情に応じた、とは、地震発生後におきる地盤の液状化や津波の到来、河川堤防の決壊、その後、長期におよぶ浸水、などのことです。そして、応じた体制とは、保健医療活動で言いますと、自家発電機の設置など公共インフラ遮断への対策、医療資材や食糧などの備蓄強化などです。こうしたことで災害対応力を強固なものにしたい。 ということで、保健医療調整会議が担う役割を軸とした体制作りや対応手順を示しながら関係機関が共有すべき保健医療活動方針を定めました。 その下、3経緯ですが、ご覧のとおりで12月10日に災害医療部会において承認を受けております。</p>

次に資料1-2をご覧ください。

愛知県地域保健医療計画につきましては、昨年度策定し、今年度第1回のこの会議で製本されたものを皆様ご覧いただきました。本日は、その293ページに記載されている災害医療対策を抜粋いたしました。

内容は、大きく3つの項目に分けて記載されており、現状では、各種の体制や活動内容を具体的な時期や病院名、個所数などを記載しております。

課題として、3つあげております。

今後の方策で下から3行目、関係者による検討を進める件に関しては、既に具体化し、津島保健所地域災害医療部会及びその下部組織でありますワーキンググループ会議を合わせて3回開催し、災害医療対策を話しあいました。また、訓練につきましては、11月17日に愛西市で開催されました愛知県・愛西市津波・地震防災訓練におきまして津島保健所は医師会さん歯科医師会さん薬剤師会さんと一緒に参加し愛西市さんとの連携を中心とした訓練を実施しました。この時は、地盤の液状化で車両を運行できない想定でドローンを使った医薬品の搬送も行いました。

今度は、資料1-3をご覧ください。海部医療圏保健医療活動要領について内容を簡単に説明申し上げます。

表紙をご覧ください。これまでの医療救護活動計画を保健医療活動の中核となるべき保健医療調整会議の役割としっかり結びつけるため、保健医療活動要領という名称にしました。

次に、1ページをご覧ください。活動要領に示された内容の推進を図るための規定を設けました。

第3に活動の際使用するため編集する6つの関連資料をあげております。

編集内容は、後で見いただけます。

2ページ以降は、管内の各関係機関の役割や体制、あるいは各種の対策について具体的な動きを記載しております。

25ページからは、要領の付属書としております調整会議の運営マニュアルでございます。

海部医療圏内に震度6弱以上の地震が発生した場合、若しくは、災害が発生して海部医療圏として医療に関する調整が必要となった場合に運営、設置・運用・廃止する津島保健所保健医療調整会議の運営手順を示しております。

26ページ27ページは、調整会議の運営に係る要領となっております。

調整会議の設置が必要となった状況において、管内2つの地域災害拠点病院で災害医療を担当される先生方のうち愛知県知事が任命した地域災害医療コーディネーター、お二人の先生には医療提供体制維持に関する調整についてアドバイスをいただくため、直ちに連絡が取れる体制を確保します。

また、災害医療を担う関係機関には保健所との連絡窓口となる方を連絡要員として指名いただき、保健所はその連絡要員を通じて連絡を取り、連携して保健医療活動を行ってまいります。

その手順を第2条、調整会議の設置、に記載しております。

30ページ以降は調整会議の運営で必要な資料となっております。

ここからは、要領の関連資料を見ながら対策や方策を簡単に説明いたします。

資料1-4、関連資料1から4までをご用意ください。

まず、資料1-4ですが、こちらは、市町村における保健医療活動体制の整

	<p>備状況を一覧にしたものとなっております。表頭には12の項目がありますが、これは、保健医療活動要領の中に記載されている内容の中で市町村として整備していただきたい項目を抽出したものでございます。</p> <p>市町村の担当者の方に今年度始め4月1日現在の状況を報告いただきました。まだ整備されていない項目も多くございますので、担当者の皆様には他の市町村を参考にするなど、整備を進めていただくようお願いしております。</p> <p>次に関連資料1ですが、こちらは、災害時連絡先便覧といいまして、災害時にどの手段で関係機関と連絡をするのか分かるようになっております。</p> <p>関連資料2ですが、こちらは、市町村医療救護所における災害時対応体制の整備状況となっております。これは開設予定施設の標高や自家発電機の有り無し、医薬品等の備蓄などを考慮しながら医療救護所を開設できる体制の整備を市町村の担当者様には、お願いしております。</p> <p>今度は、関連資料3ですが、こちらは、病院における災害時対応体制の整備状況を一覧にしたものとなっております。特に自家発電設置や医薬品や食糧品の備蓄などが入院患者さんの看護体制維持に重要なポイントとなりますので、病院の災害担当者様には他の病院の状況を参考に整備いただくようお願いしております。</p> <p>最後は、関連資料4ですが、こちらは、専門医療機関における災害時対応体制の整備状況を一覧にしたものとなっております。大規模災害時においても継続的な医療提供が必要な人工透析実施医療機関及び分娩実施医療機関について情報を提供いただきました。</p> <p>特に通院患者さんとのように連絡を取るのかが課題となりますので、検討いただいております。</p> <p>今回は既に編集されております5つの関連資料をご紹介しましたが、これらに有床診療所における災害時対応体制の整備状況を合わせた6つを活動要領の関連資料として編集し、常に最新の状況に整理してまいります。</p> <p>既に訓練での使用を行っておりますが、災害時には迅速で的確な判断を行うための資料として使用していくこととします。</p> <p>協議事項に係ります説明は以上になります。海部医療圏保健医療活動要領につきまして、ご意見のほど、よろしく願いいたします。</p> <p>ただ今説明のありました保健医療活動要領の策定について、津波地震防災訓練に参加されました海部歯科医師会の渡辺会長さん、何かご意見ありますでしょうか。</p> <p>海部歯科医師会の渡辺でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>まず、今回、愛西市の方で防災訓練参加させていただきました。</p> <p>私事ですが、私はずっと歯科医師会の防災担当させていただいて海部地域総合防災訓練には第2回からずっと参加させていただいておりました各市町村と一緒に出させていただいておりました。ずっと言われてきたのは、各機関の連携だとかですが、なかなかそういったことが出来なかった。</p> <p>今回は、画期的に調整会議という一つの軸をもって医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政、関係団体と一緒に、一つの命令系統の中で訓練を行なったということは、すごくお互いにとって色んなことが分かって良い訓練でした。</p>
<p>議事進行 (奥村議長)</p>	
<p>意見発言 (渡辺会長)</p>	

	<p>本場に津島保健所の皆様大変だったと思いますがありがとうございます。</p> <p>その中で、いろんなことが分かってきて初めてこんなことをさせていただいたものですから</p> <p>我々歯科領域においてもなんか起こった時に、歯科というのは、平成24年に各市町村と災害の時の協定書を締結させてもらっており、救護所で口腔領域の応急措置をしたり、時系列でちょっとたってから避難所の口腔衛生管理、そういったことをしたり、身元確認の調査、その三つは災害時にしなければいけないことになっております。</p> <p>今回その協定書と調整会議、そういったもの、マニュアルに即した訓練が、その通りにできた。今後、いろんなところの防災訓練にそういった形で出来たらいいなと思いました。</p> <p>後これはお願いなのですが、今回それで、いざ災害が起こった時、多分これは医師会も薬剤師会も一緒同じだと思うんですが、我々自身も被災するものですから、実際我々はどれだけ動けるかわからない。</p> <p>能登半島の時もそうだったんですけど、地元の歯科医師会とかは全部が全部動けなくて最終的にJDATと言って、歯科版のJMATに要請して来ていただいた。</p> <p>愛知県からも行ったんですけど、そういったことが実際起こって、そこで、すごく大事なところが、外からの応援をどう受け入れるか、その体制づくり、アセスメントづくり。</p> <p>そういったことも分かってきて、実際能登半島で初めて使われたラピッドアセスメント票、これは歯科版の避難所で何が足りないのかをどういった人がいるのかなど、その部分で何が必要なのだという一覧表を作るアセスメント票を今回、愛西市の訓練で使わせていただきました。</p> <p>やっぱり次への引継ぎや情報収集にすごく有効だったものですから、是非今後、この海部医療圏でそういったものをこういった調整会議のマニュアル等に入れていただけると助かると思いますので、今後の会議なんかで、議案に入れていただいて調整していただくとありがたいと思いました。</p> <p>今回いろんな形で新しい受け入れ体制の訓練までできたことをありがたく思います。</p> <p>今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>同じく津波地震訓練では、ドローンによる医薬品搬送訓練を実施されました薬剤師会の多田先生、何かご意見ございますか。</p> <p>薬剤師会の多田と申します。</p> <p>私共も今回初めてドローンを使った医薬品の運搬ということでいろんなところの手続きで苦労されたと思いますが、津波になると浸水して自動車での運搬が出来なくて、そういった時にドローンを飛ばすということは、非常に有効であるということが、今回訓練で分かりました。医薬品が今回、想定としては、高血糖の患者が出てインスリンが必要だということで、中北薬品の方から約5キロ、これを自動運転で飛ばすという非常に画期的なことをやったのですけども、我々としては少しでも皆さんの災害時の不安を解消できたという訓練だったとありがたく思っております。</p> <p>それと、医療救護所におきまして一番気になったのは、薬品が何も無かった</p>
<p>議事進行 (奥村議長)</p>	
<p>意見発言 (多田会長)</p>	

<p>議事進行 (奥村議長)</p>	<p>んですね、こういったことも有る程度少し各自治体の首町さんたちに考えていた だきたいのは、すぐ薬がないと、ドクターがいても治療できないので、多少なり とも少しは備蓄薬品があると、OTC でも結構ですので置いておいてもらおうと 非常にありがたいなと思いました。</p> <p>ありがとうございます。津島の医薬品の備蓄品に関しては、薬剤師会の先生 方とお話して、発災したら薬剤師会の先生方が持ってきていただけるという ことになっております。どうしても小学校が医療救護所になるものですから、 セキュリティの問題でお薬を置いておくことがなかなか難しいようなんで す、ですから一応そういう形になっています。</p> <p>次に津波地震訓練の開催地であります愛西市の清水副市長さん、何かご意見 ございますか。</p>
<p>意見発言 (清水副市長)</p>	<p>愛西市副市長の清水です。この度は、愛西市でこのような避難訓練をさせて いただきまして大変学ぶことが多かったと思います。ありがとうございました。</p> <p>防災訓練においては、自治体、自衛隊、医療機関関係、通信関係など67機 関と住民の方が参加したということで、様々な分野の人たちの間で関係ができた というのはすごくよかったなと思います。</p> <p>また、愛知県内では初めてゼロメートル地域広域防災拠点を活用してヘリコ プターを使った広域訓練を実施しました。遠隔地に市民が避難することで、広 域避難の大切さや、逃げるという部分についても周知が出来た。</p> <p>実際に佐屋苑の人たちを杏和高校まで運んでというところまで出来ましたの で、広域避難について学ぶことが多かった。</p> <p>また、医療救護所とか学校では様々な分野の展示等していたので、防災に必 要な備蓄品や日頃揃えなければならないものについて、また、備品などについ ても紹介があり、大変良かったと思います。</p> <p>また、医療救護所につきましては、トリアージ訓練と医師会を含む三師会 の方のご協力によって救護所を立ち上げたのですが、やはり一番最初の情報 伝達訓練で、まず医師の方が参集できるかどうか無事かどうかという部分につ いて、日頃パソコンのメールを使っていると、少し遅れたりする、携帯電話の 方が、すぐメールを受信でき、また受信しても市内に居なかった場合は、来れ るのか、どれぐらいの先生がいらっしゃるのか、どういうチームが組めるのか、 というところが、かなり課題として残っております。</p> <p>平時からのそういった医療訓練というか、どのように情報を正しく入手し、 正しく共有出来ていくかという訓練が必要だと感じました。また、海部医療機 関、二次病院の方々と共に全体で医療情報の共有だとか、どういう風に災害時 にきちっとやれるかという訓練や、それに関するマニュアル整備などの情報共 有も必要ではないかと感じました。</p> <p>本当にいい訓練だったと思います。ありがとうございました。</p>
<p>議事進行 (奥村議長) 質問 (宇藤会長)</p>	<p>その他、どなたかご発言はございますか</p> <p>津島市女性の会会長の宇藤と申します。</p> <p>防災の件が出ましたので、お聞きしたいのですが、今、津島市民病院と</p>

<p>議事進行 (奥村議長)</p>	<p>か、あま市民病院とか、海南病院では、病院の訓練ですよ、どうなっているのかなと思ひまして。私は日本赤十字社の援護の方の救護班に入っている。それで、日赤の第一日赤、第二日赤を使いまして災害の実戦さながらの訓練をやってデモを使ったりトリアージの仕方、病院全体で訓練をやったのですが、大災害が起きたら、とにかく病院が一番混乱を起こすと思うんです。そういった訓練は、されているのでしょうか。</p> <p>川井先生お願いします。</p>
<p>回答 (川井院長)</p>	<p>津島市民病院の川井と申します。 津島市民病院では毎年災害訓練をやっております。 訓練内容が多岐にわたっておりまして、どういう災害を想定して、どういう訓練をするか、毎年シミュレーションを変えてやっております。 病院自身機能が残るという前提もあれば、籠城しなければいけない、病院機能が残って外部からの受け入れが十分可能な場合、そういう風に想定しながらやっております。</p>
<p>質問 (宇藤会長)</p>	<p>ですから、日赤の第一、第二に関しては、実際の平時を使ってその中で、先生方も含め、いろんな訓練、ドローンを使って薬剤を運ぶとか駐車場を全部使って、当然院内、診療を行ってみる中で実戦さながらの訓練、仮にけがをした時の、顔に塗って血が流れている、足をけがしている、そういった方々を、作って、救急車で運びこんで、そういう方をどこに運ぶとか、廊下を使って全部ベッドを出して、実戦さながらの大規模な訓練やるんですよ。市民病院に見える職員さんだけの訓練じゃなくって、そういった方々を巻き込んだ、訓練で又、dERU という車ごぞんじですか、dERU の車から駐車場にテントを出したりとか、本番さながらの訓練ですので、いざ、災害が起きた時は、すごく役に立つと思うんですけど。日赤さんを参考にされたりして、もう少し規模の大きい訓練をされたらどうですか。前から気になっておりました。日赤の訓練に参加した経験上、お願いしたいです。</p>
<p>回答 (水野院長)</p>	<p>あま市民病院の水野です。私は昨年3月いっぱいまで第一日赤におりましたので、そういう災害訓練を経験しておりますが、あま市民病院では、まだ、病院としての災害訓練をやってますし、これからもう少し充実させていかなければいけないかなと思います。 日赤というのは、災害が起きた時必ず派遣していて職員は希望しての派遣なのでノウハウを持っている。我々のような病院においては、まだそういった細かいことが分からない。ということもありまして、当院では昨年から日赤の災害コーディネーターを呼んで机上訓練を行っている。災害が起きた時どういうことが起きるのかということ、まず、職員に周知する。そういったことから始めていかなければいけない。先ほど川井先生もおっしゃいましたが状況に応じて、患者さんを受け入れる場合、受け入れない場合、それから籠城しなければいけない場合とか。いろいろあるわけです。それを、発災した時まず、何をやるかということ、第一に何をすべきかを職員に浸透させて</p>

<p>回答 (奥村院長)</p>	<p>いって、その中で、病院として動いていくということは必要になってくるので、これから進めていこうと思っています。</p> <p>日赤がやっているような災害訓練は、消防を巻き込み、ボランティアの人に患者役をお願いしたり、色々準備してやっているんですね。そういったことで、あそこまでの規模は難しいかもしれない。周囲の消防とか協力しながらやっていきたい。</p> <p>海南病院の奥村でございます。</p> <p>津島市民の川井先生がおっしゃられている通りどういう災害かというシチュエーションが色々なので、一時に全部まとめてやるというのは難しいので、今回は浸水被害とかにしようとかテーマを決めて訓練している。</p> <p>当院では、アクションカードを作っておりまして、災害の時にアクションカードに従って行動している。それを繰り返している。</p> <p>川井先生おっしゃたように普通の日、診療中には、なかなか難しいので、当院では土曜日か日曜日ではありますが、その時に訓練をしております。</p> <p>やはり浸水被害が多かった時には、医療機器をいかにして高い位置にあげるという実際に機器を動かしたりして、そういった訓練をしております。</p>
<p>回答 (奥村議長)</p>	<p>津島市に関しましては、発災した場合にですね、患者さんが津島市民病院に皆さんいかれることを想定しています。ただ、津島市民病院は、津島市民病院の患者さんを守ることが第一に、だから、軽症患者は救護所に行っていただくように東小学校に救護所を作っております。救護所には、どの医師が行くこともチームで分けてあります。</p> <p>診療時間中に市民病院において実際問題、診療をしながら訓練をするというのは無理です。土日に訓練を行うことは可能です。</p>
<p>協議事項議事進行 (奥村議長)</p>	<p>他にご発言がないようですので、協議事項として説明のありました海部医療圏保健医療活動要領の策定につきまして、今後、海部医療圏の災害医療対策を推進するために使用していくこととしてよろしいですか</p> <p style="text-align: center;"><b>【異議なしの発言】</b></p>
<p>協議事項議事進行 (奥村議長)</p>	<p>ありがとうございました。提案が異議なしということですので、今後はこれをしようして、より対策を推進していただきたいと思います。</p>
<p>報告事項議事進行 (奥村議長)</p>	<p>それでは、議事の2つ目、報告事項に移ります。</p> <p>報告事項 愛知県地域保健医療計画別表に掲載されている医療機関名の更新について事務局から報告をお願いします。</p>
<p>報告 (鈴木主任)</p>	<p>報告事項であります愛知県地域保健医療計画別表に記載されている医療機関名の更新について説明申し上げますので、資料2-1、2-2及び2-3をご用意ください。</p>

	<p>この別表は、愛知県地域保健医療計画に挙げられている、がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病及び精神疾患といった5疾病、それから救急医療、災害時における医療、新興感染症発生・まん延時における医療、へき地の医療、周産期医療及び小児医療の6事業並びに在宅医療について対応する個々の医療機関につきまして別冊として編集されたものでございます。</p> <p>別表は、随時更新され、更新後、直近のこの会議でご報告することになっておりますので、</p> <p>今年度の8月16日及び12月3日の更新分をご報告いたします。</p> <p>資料2-1をご覧ください。8月16日の更新について、5疾病、6事業ごとに変更内容が記載されております。</p> <p>2 脳卒中において、津島市民病院が高度救命救急医療機関から削除され、脳血管領域における地域病院に記載されました。</p> <p>また、脳血管疾患等リハビリテーション料を算定している病院、回復期リハビリテーション病棟の届出の無い病院として安藤病院及び津島中央病院が記載されました。</p> <p>4 精神科救急では、海部医療圏が含まれる尾張Aブロックの区割りが変更されました。</p> <p>7 新興感染症発生・まん延時における医療には、厚生連海南病院、あま市民病院、津島市民病院及び七室病院が記載されました。</p> <p>次に、資料2-2をご覧ください。</p> <p>12月3日の更新分ですが、9 周産期医療の地域周産期医療施設（正常分娩等軽度な場合）では、中川医院が削除されました。</p> <p>12月3日は、この1件です。</p> <p>これら2回の更新を反映した海部医療圏の医療機関掲載箇所のみ抜粋したものを資料2-3として添付しておりますので、ご覧ください。</p> <p>なお、この別冊は、県庁の保健医療局医療計画課のホームページでもご覧いただけます。</p> <p>事務局からの報告は以上でございます。</p>
<p>議事進行 (奥村議長)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>このことについて、ご意見・ご質問はありますか。</p>
<p>議事進行 (奥村議長)</p>	<p>質問がないようですので、最後に、その他として事務局から何かありますか。</p>
<p>議事録協力案内 (安藤補佐)</p>	<p>会議の冒頭に申し上げましたとおり、本日の会議の公開部分の内容につきましては、後日会議録として愛知県のホームページに掲載することにしております。</p>
	<p>掲載内容については、事務局が作成したものを発言者の方に御確認いただくことしておりますので、御協力お願いいたします。</p> <p>以上でございます。</p>

<p>議事進行 (奥村議長)</p>	<p>本日の海部圏域保健医療福祉推進会議の議事は、これで終了いたしました。 皆様の御協力によりまして、議事が順調に進行できましたことを感謝申し上げます。 それでは、事務局に進行をお返しします。</p>
<p>閉会 (加藤次長)</p>	<p>奥村様、どうもありがとうございました。  それでは、これをもちまして、令和6年度 第2回 海部圏域保健医療福祉推進会議を終わらせていただきます。  皆様におかれましては、交通事故などにお気をつけてお帰りください。</p>